

地元企業の景況

第118号

郡上市八幡町新町958番地1
八幡信用金庫
総務部
TEL(0575)65-3407
FAX(0575)65-3914

<業況判断>

今期業況横ばい、来期も引き続き同水準の見通し

I 今期(2024年7月~9月期)

1. 今期の業況判断D.I.は前期比2.9ポイント改善の▲23.6となり、前期(2024年4月~6月期)▲26.5と概ね同水準となった。
2. 業種別では、製造業、農業、卸売業、飲食業、小売業で改善、サービス業で横ばいも、不動産業、建設業で悪化となった。

II 来期(2024年10月~12月期)

1. 来期の業況判断D.I.は▲25.1と今期▲23.6に比べ▲1.5ポイントの悪化予想。
2. 業種別では、農業、不動産業、製造業で改善、建設業で横ばいも、卸売業、飲食業、サービス業、小売業で悪化の見通し。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	時期 前期 2024年 4月~6月	今期 2024年 7月~9月	来期 2024年 10月~12月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

$DI < \Delta 30$	$\Delta 30 \leq DI < \Delta 15$	$\Delta 15 \leq DI < 0$	$0 \leq DI < 15$	$15 \leq DI < 30$	$30 \leq DI$

調査概要

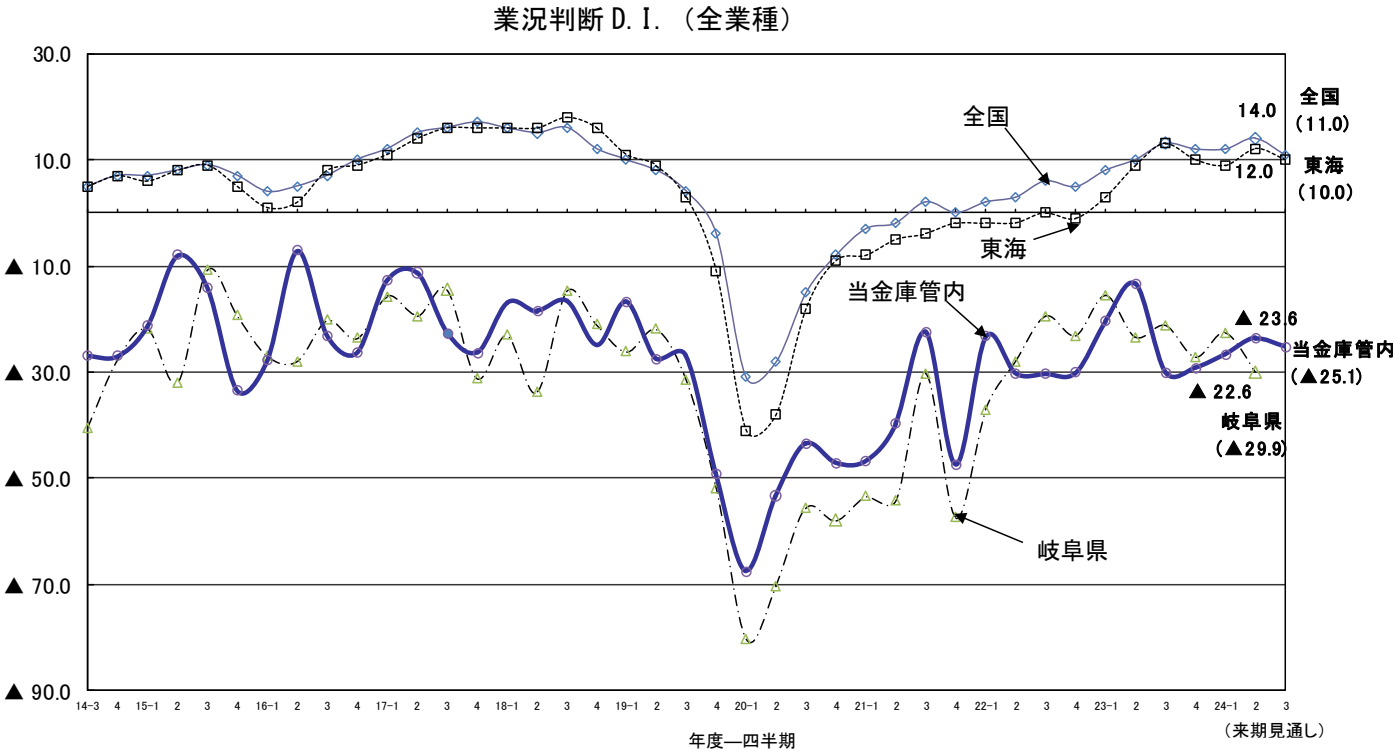
調査目的	郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
調査対象	当金庫取引先 228先 (郡上市202社 下呂市14社 高山市・大野郡白川村12社)
調査時期	2024年9月1日~9月30日
調査時点	2024年9月30日時点
回収状況	配付数 228先(うち回収数199先) 回収率 87.3%
調査項目	(1)業況判断 (2)売上・受注 (3)採算水準 (4)資金繰り (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較 SDGsへの取り組み状況等に関する調査
補足調査	有効求人倍率について
特別調査	・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断…D.I.(ディフュージョン・インデックス)
参考資料	・数値のほかグラフも掲載しております。
調査方法並びに注意事項	・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。 ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

1. 業況判断

全業種の業況判断D. I. (良いー悪い) は、今期(2024年7月～9月期) ▲23.6となり、前期(2024年4月～6月期) ▲26.5と概ね同水準となりました。

業種別では、製造業、農業、卸売業、飲食業、小売業で改善、サービス業で横ばいも、不動産業、建設業で悪化となりました。

来期(2024年10月～12月期)の業況判断見通しは▲25.1と今期▲23.6に比べ▲1.5ポイントの悪化予想となっています。業種別では、農業、不動産業、製造業で改善、建設業で横ばいも、卸売業、飲食業、サービス業、小売業で悪化の見通しとなっています。



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店・多治見支店による。

業況判断

(%)

業 種	2024年4月～6月(前期)				2024年7月～9月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D. I.	良い	良悪なし	悪い	D. I.	(見通し)※	良い	良悪なし	悪い	D. I.
製 造 業	12.0	38.0	50.0	▲38.0	20.8	35.8	43.4	▲22.6	(▲36.0)	24.5	37.7	37.7	▲13.2
卸 売 業	25.0	16.7	58.3	▲33.3	25.0	25.0	50.0	▲25.0	(▲33.3)	8.3	33.3	58.3	▲50.0
小 売 業	15.4	28.8	55.8	▲40.4	11.3	43.4	45.3	▲34.0	(▲21.1)	7.5	43.4	49.1	▲41.6
飲 食 業	23.1	46.2	30.8	▲7.7	21.4	57.1	21.4	0.0	(▲7.7)	7.1	71.4	21.4	▲14.3
サービ業	34.8	21.7	43.5	▲8.7	27.3	40.9	31.8	▲4.5	(▲8.7)	18.2	45.5	36.4	▲18.2
建 設 業	22.6	48.4	29.0	▲6.4	12.5	50.0	37.5	▲25.0	(▲29.0)	12.5	50.0	37.5	▲25.0
不 動 産 業	16.7	83.3	0.0	16.7	14.3	42.9	42.9	▲28.6	(▲16.7)	0.0	85.7	14.3	▲14.3
農 業	0.0	40.0	60.0	▲60.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	(▲20.0)	16.7	66.7	16.7	0.0
全 業 種	18.8	35.9	45.3	▲26.5	17.1	42.2	40.7	▲23.6	(▲24.5)	14.1	46.7	39.2	▲25.1

※ () 内は前回調査時での見通し

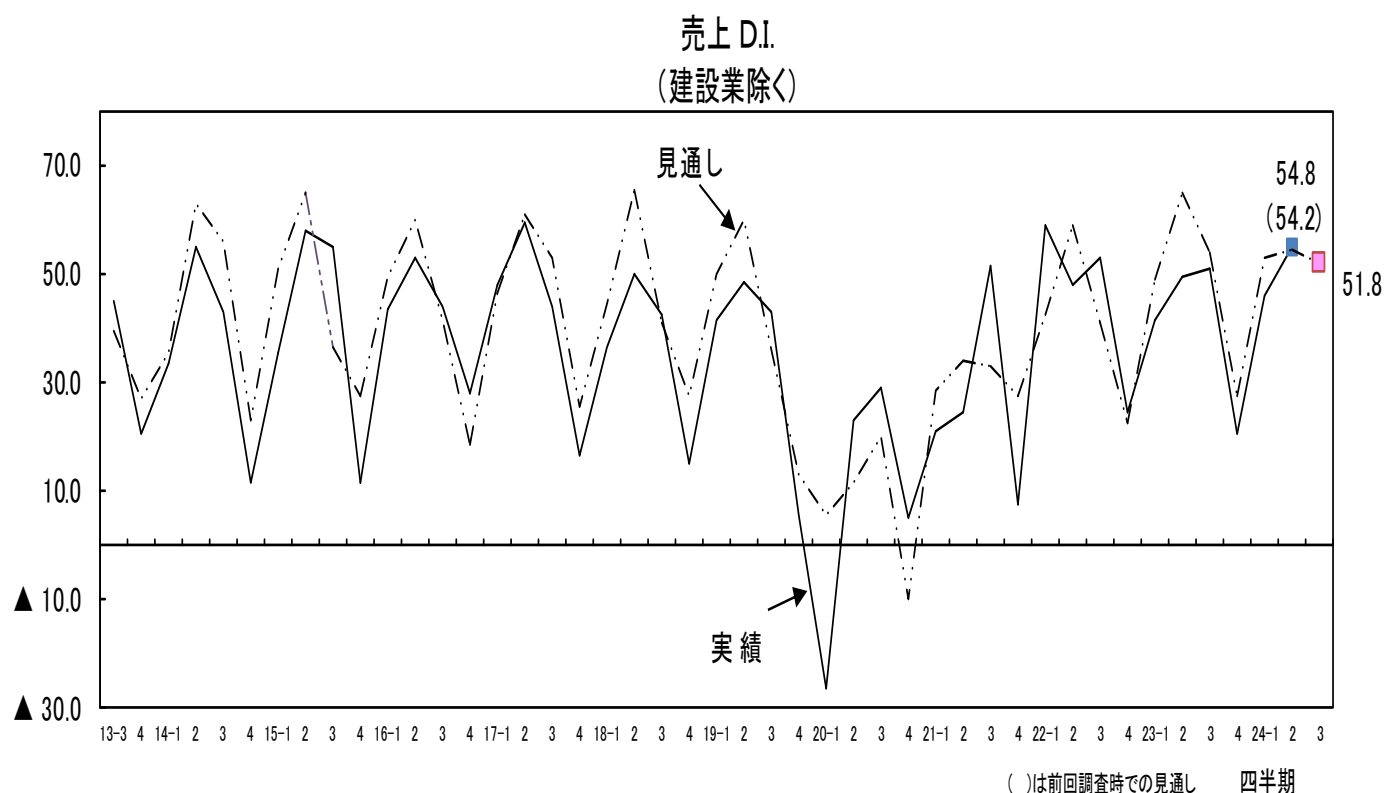
2. 売上・受注

(1) 売上（建設業除く）

建設業を除く売上額判断D. I.（増加－減少）は、今期54.8と前期45.8に比べ9.0ポイント改善となりました。業種別では、小売業、サービス業で改善、製造業で横ばいも、不動産業、卸売業、農業、飲食業で悪化となりました。

来期の見通しは、農業、製造業で改善、卸売業、不動産業、小売業で横ばいも、サービス業、飲食業で悪化予想となっています。

また、全業種の予想売上額判断D. I.は51.8と今期に比べ3.0ポイント悪化予想となっています。



売上（建設業除く）

(%)

業 種	2024年4月～6月（前期）			2024年7月～9月（今期）				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	（見通し）※	増 加	減 少	D. I.
製 造 業	70.0	30.0	40.0	71.7	28.3	43.4	(52.0)	83.0	17.0	66.0
卸 売 業	83.3	16.7	66.6	66.7	33.3	33.4	(66.6)	66.7	33.3	33.4
小 売 業	50.0	50.0	0.0	69.8	30.2	39.6	(30.8)	67.9	32.1	35.8
飲 食 業	92.3	7.7	84.6	85.7	14.3	71.4	(38.4)	64.3	35.7	28.6
サ ー ビ ス 業	73.9	26.1	47.8	86.4	13.6	72.8	(47.8)	59.1	40.9	18.2
不 動 産 業	100.0	0.0	100.0	71.4	28.6	42.8	(66.6)	71.4	28.6	42.8
農 業	60.0	40.0	20.0	50.0	50.0	0.0	(60.0)	66.7	33.3	33.4
全 業 種	72.9	27.1	45.8	77.4	22.6	54.8	(54.2)	75.9	24.1	51.8

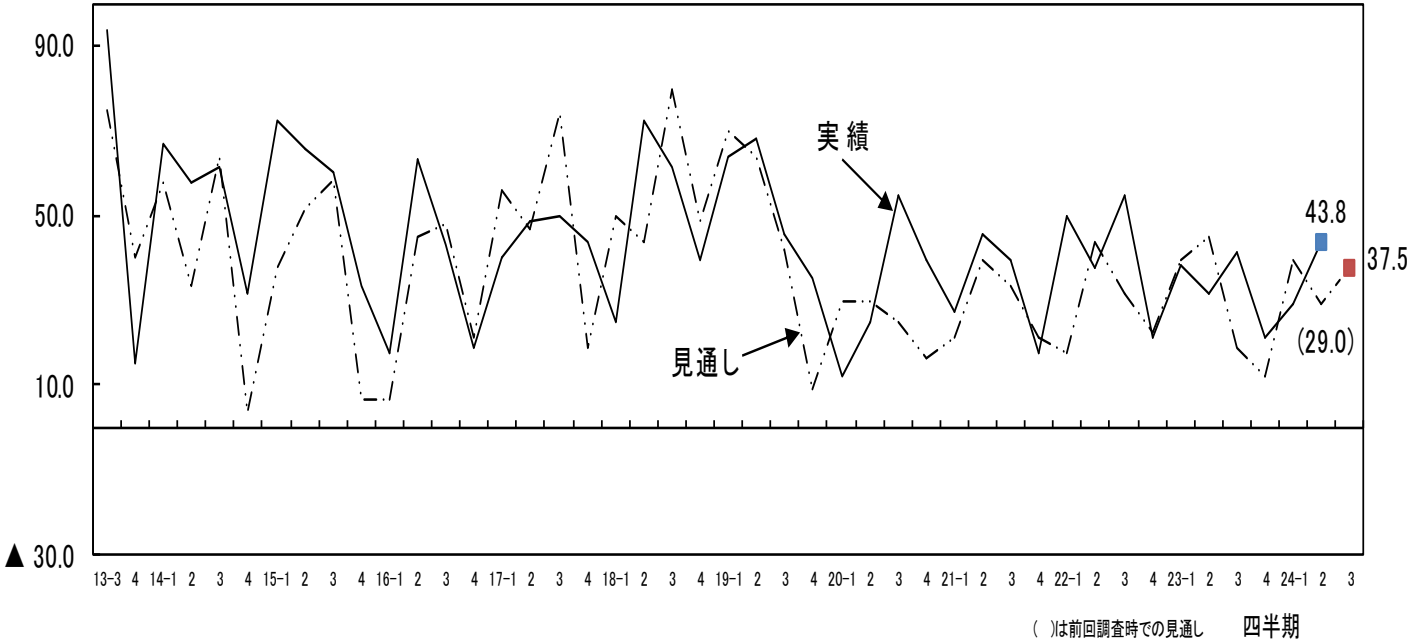
※（ ）内は前回調査時での見通し

(2) 受注（建設業）

建設業（建築工事22先、土木工事13先）の受注高判断D.I.（増加－減少）は、今期43.8と前期29.0に比べ14.8ポイント改善となりました。業種別では、土木工事は今期38.4と前期▲45.4に比べ83.8ポイント改善、建築工事では今期47.4と前期70.0に比べ22.6ポイント悪化となりました。

来期の見通しは、土木工事で7.6と今期に比べ30.8ポイント悪化予想、建築工事で57.8と今期に比べ10.4ポイント改善予想となっており、建設業全体では37.5と今期と比べ6.3ポイント悪化予想となっています。

受注 D.I.
(建設業)



受注（建設業）

(%)

業 種	2024年4月～6月 (前期)			2024年7月～9月 (今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	(見通し)*	増 加	減 少	D. I.
建 設 業	64.5	35.5	29.0	71.9	28.1	43.8	(29.0)	68.8	31.3	37.5

受注（業種別）

(%)

業 種 (大別)	2024年4月～6月 (前期)			2024年7月～9月 (今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	(見通し)*	増 加	減 少	D. I.
土木工事	27.3	72.7	▲45.4	69.2	30.8	38.4	(9.0)	53.8	46.2	7.6
建築工事	85.0	15.0	70.0	73.7	26.3	47.4	(40.0)	78.9	21.1	57.8

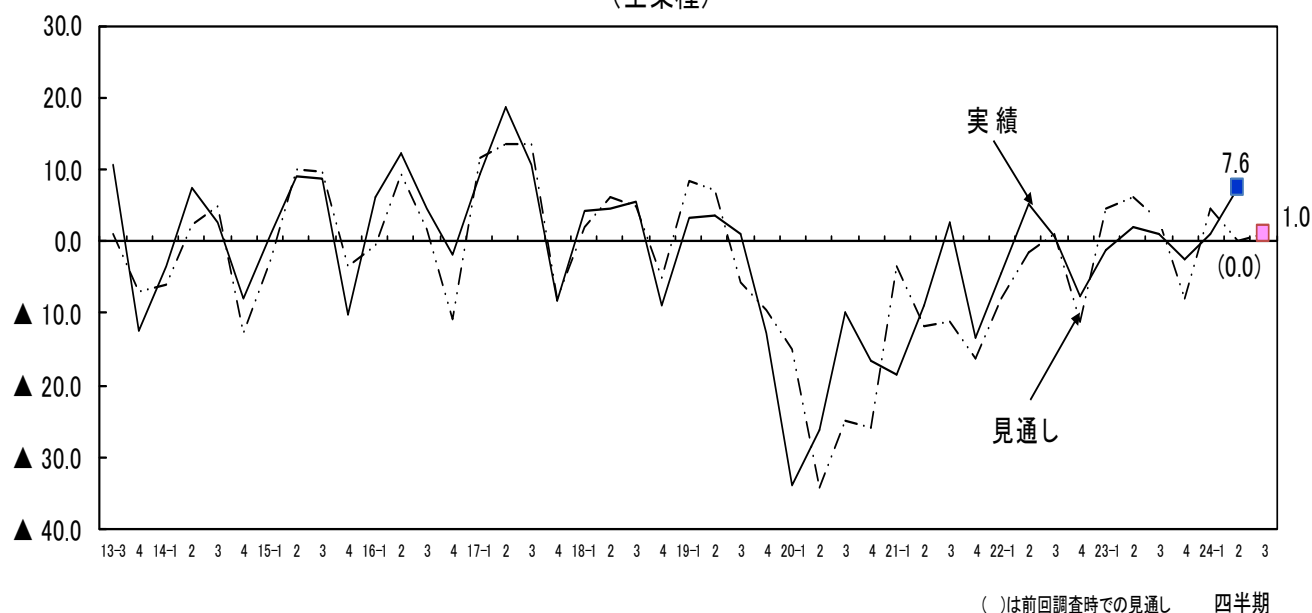
※ () 内は前回調査時での見通し

3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.（黒字－赤字）は、今期7.6と前期1.1に比べ6.5ポイント改善となりました。業種別では、サービス業、製造業、飲食業、農業で改善、建設業、小売業、不動産業で横ばいも、卸売業で悪化となりました。

来期の見通しは、農業で改善、製造業、建設業、不動産業で横ばいも、サービス業、飲食業、卸売業、小売業で悪化予想となっており、全業種の予想採算水準判断D.I.は1.0と今期と比べ6.6ポイント悪化予想となっています。

採算水準D.I.
(全業種)



採算水準

(%)

業 種	2024年4月～6月 (前期)				2024年7月～9月 (今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トントン	赤字	D. I.	黒字	収支トントン	赤字	D. I.	(見通し)※	黒字	収支トントン	赤字	D. I.
製 造 業	20.0	52.0	28.0	▲8.0	26.4	47.2	26.4	0.0	(▲4.0)	24.5	54.7	20.8	3.7
卸 売 業	25.0	58.3	16.7	8.3	25.0	33.3	41.7	▲16.7	(0.0)	16.7	41.7	41.7	▲25.0
小 売 業	28.8	50.0	21.2	7.6	32.1	43.4	24.5	7.6	(9.6)	24.5	52.8	22.6	1.9
飲 食 業	23.1	46.2	30.8	▲7.7	21.4	57.1	21.4	0.0	(▲7.7)	7.1	64.3	28.6	▲21.5
サービ業	21.7	52.2	26.1	▲4.4	54.5	31.8	13.6	40.9	(0.0)	31.8	36.4	31.8	0.0
建 設 業	25.8	58.1	16.1	9.7	34.4	43.8	21.9	12.5	(▲9.6)	28.1	56.3	15.6	12.5
不 動 産 業	33.3	66.7	0.0	33.3	28.6	71.4	0.0	28.6	(16.6)	28.6	71.4	0.0	28.6
農 業	0.0	60.0	40.0	▲40.0	16.7	33.3	50.0	▲33.3	(0.0)	16.7	50.0	33.3	▲16.6
全 業 種	24.0	53.1	22.9	1.1	31.7	44.2	24.1	7.6	(0.0)	24.1	52.8	23.1	1.0

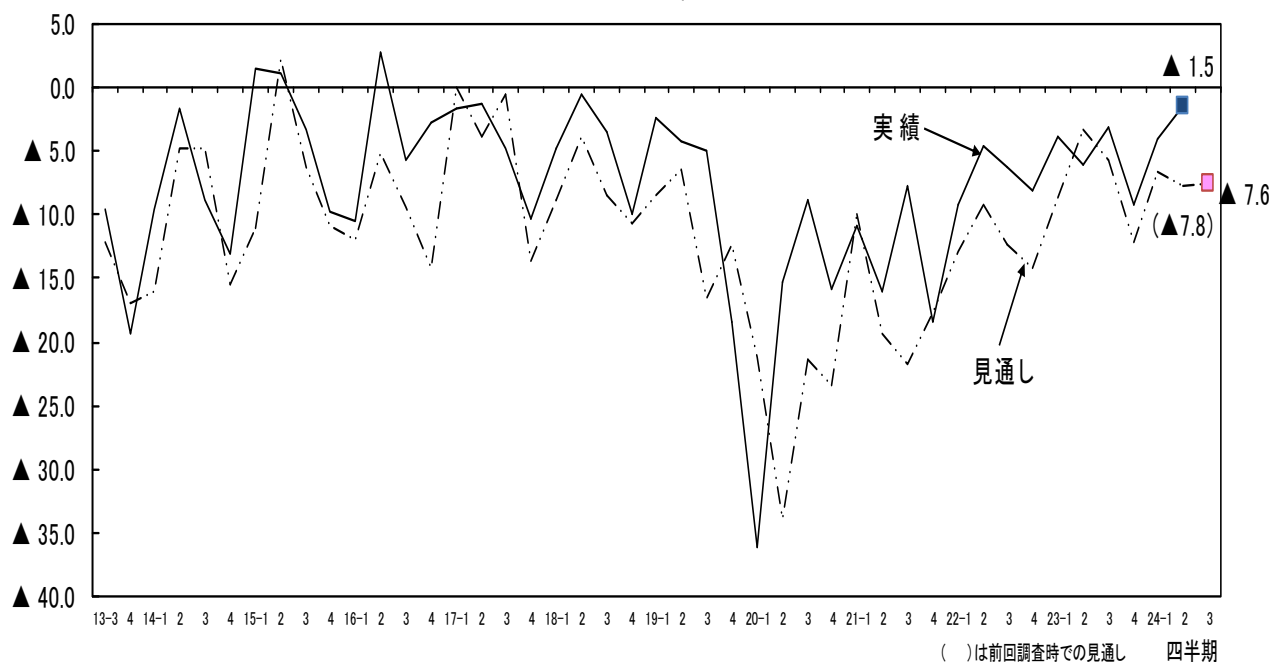
※ () 内は前回調査時での見通し

4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D. I.（好転－悪化）は、今期▲1.5と前期▲4.1に比べ2.6ポイント改善となりました。業種別では、卸売業、製造業、小売業、飲食業で改善、建設業、サービス業で横ばいも、農業、不動産業で悪化となりました。

来期の見通しは、農業で改善、不動産業で横ばいも、卸売業、サービス業、小売業、飲食業、建設業、製造業で悪化予想となっており、全業種の予想資金繰り判断D. I.は▲7.6と今期に比べ6.1ポイント悪化予想となっています。

資金繰りD.I.
(全業種)



資金繰り

(%)

業 種	2024年4月～6月(前期)				2024年7月～9月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D. I.	好転	不変	悪化	D. I.	(見通し)※	好転	不変	悪化	D. I.
製 造 業	8.0	78.0	14.0	▲6.0	18.9	64.2	17.0	1.9	(▲10.0)	11.3	73.6	15.1	▲3.8
卸 売 業	8.3	58.3	33.3	▲25.0	8.3	66.7	25.0	▲16.7	(▲25.0)	0.0	58.3	41.7	▲41.7
小 売 業	5.8	80.8	13.5	▲7.7	11.3	77.4	11.3	0.0	(▲1.9)	7.5	77.4	15.1	▲7.6
飲 食 業	15.4	69.2	15.4	0.0	14.3	78.6	7.1	7.2	(▲23.1)	14.3	71.4	14.3	0.0
サ-ビ-ス業	17.4	73.9	8.7	8.7	9.1	86.4	4.5	4.6	(4.4)	0.0	90.9	9.1	▲9.1
建 設 業	6.5	83.9	9.7	▲3.2	9.4	81.3	9.4	0.0	(▲16.2)	9.4	75.0	15.6	▲6.2
不動産業	16.7	83.3	0.0	16.7	0.0	100.0	0.0	0.0	(16.7)	0.0	100.0	0.0	0.0
農 業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	▲66.7	(0.0)	16.7	66.7	16.7	0.0
全 業 種	8.9	78.1	13.0	▲4.1	12.1	74.4	13.6	▲1.5	(▲7.8)	8.0	76.4	15.6	▲7.6

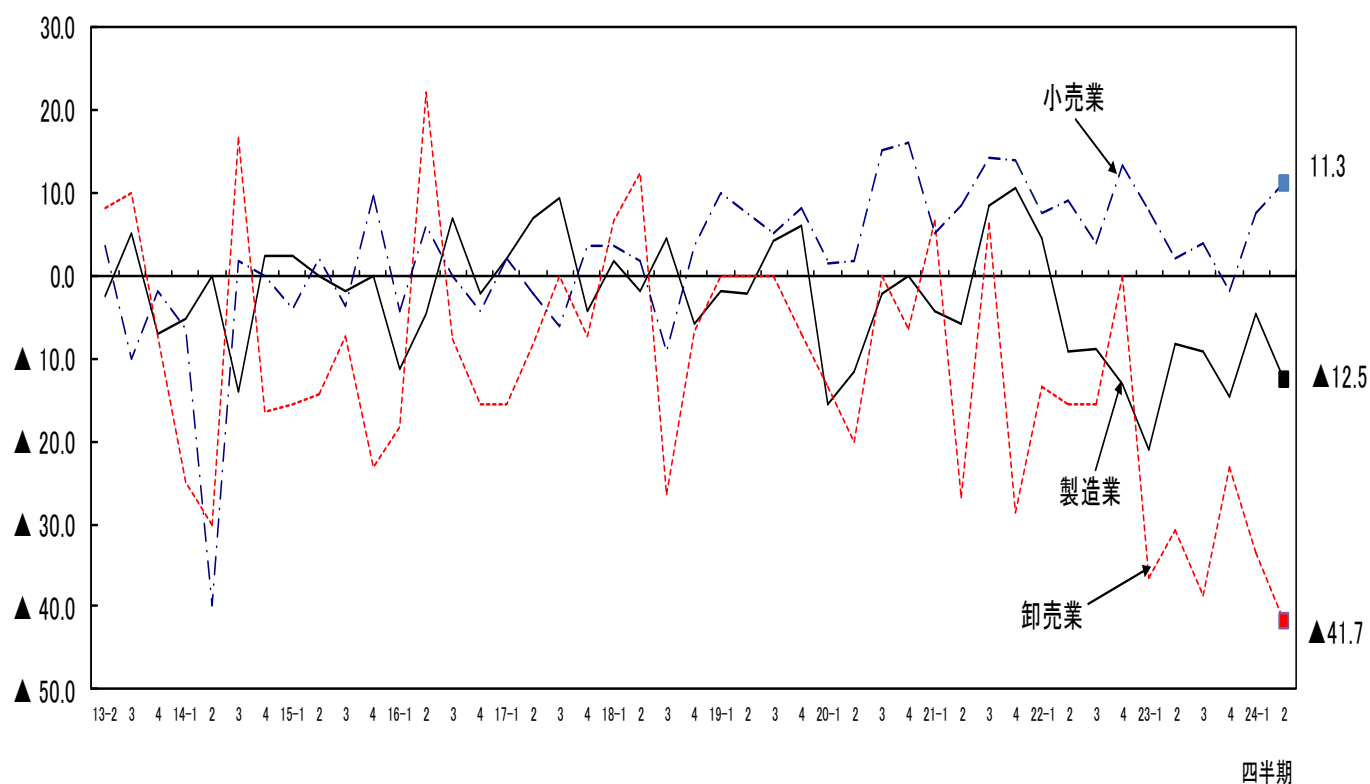
※（ ）内は前回調査時での見通し

5. 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D. I.（不足－過大）は、製造業で▲12.5と前期比7.9ポイント低下、卸売業で▲41.7と前期比8.3ポイント低下、小売業で11.3と前期比3.6ポイント上昇となりました。

製品（商品）在庫の過不足感については、製造業では過大感が増加し適正感が減少、卸売業では不足感が減少し適正感が増加、小売業では適正感が増加し過大感が減少しました。

製品(商品)在庫D. I.



製品(商品)在庫

(%)

業 種	2024年4月～6月(前期)				2024年7月～9月(今期)			
	不 足	適 正	過 大	D. I.	不 足	適 正	過 大	D. I.
製 造 業	6.8	81.8	11.4	▲4.6	6.3	75.0	18.8	▲12.5
卸 売 業	8.3	50.0	41.7	▲33.4	0.0	58.3	41.7	▲41.7
小 売 業	26.9	53.8	19.2	7.7	26.4	58.5	15.1	11.3

6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は22.6%と前期から6.6ポイント低下しました。

今期の投資目的としては「機械・設備の新・増設」が17件と最も多く、次いで、「機械・設備の更改」が13件、「車両」が7件、「事業用土地・建物」が4件、「事務機器」が2件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は23.1%と今期と概ね同水準となりました。

設備投資

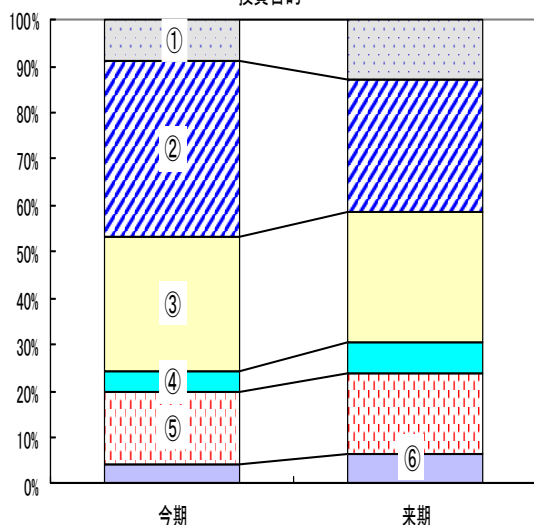
(%)

業 種	2024年4月～6月(前期)		2024年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行 っ た	行わなかった	行 っ た	行わなかった	行 う	行わない
製 造 業	34.0	66.0	34.0	66.0	34.0	66.0
卸 売 業	16.7	83.3	16.7	83.3	25.0	75.0
小 売 業	19.2	80.8	17.0	83.0	17.0	83.0
飲 食 業	23.1	76.9	14.3	85.7	14.3	85.7
サ ー ビ ス 業	34.8	65.2	22.7	77.3	27.3	72.7
建 設 業	38.7	61.3	18.8	81.3	15.6	84.4
不 動 産 業	33.3	66.7	28.6	71.4	28.6	71.4
農 業	40.0	60.0	16.7	83.3	16.7	83.3
全 業 種	29.2	70.8	22.6	77.4	23.1	76.9

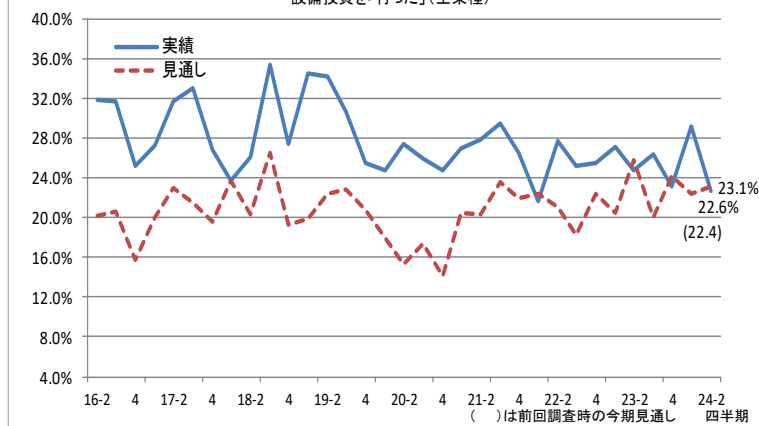
投資目的

区 分	2024年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
① 事業用土地・建物	4	8.9	6	13.0
② 機械・設備の新・増設	17	37.8	13	28.3
③ 機械・設備の更改	13	28.9	13	28.3
④ 事務機器	2	4.4	3	6.5
⑤ 車両	7	15.6	8	17.4
⑥ その他	2	4.4	3	6.5
合 計	45	100.0	46	100.0

投資目的



設備投資を「行った」(全業種)



7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」が33.7%（前期比▲8.0ポイント）と依然として最も多く、次いで「人手不足」が21.6%（前期比+0.8ポイント）、「利幅の縮小」が19.6%（前期比+2.4ポイント）、「設備の狭小・老朽化」が8.5%（前期比+1.7ポイント）と続きました。

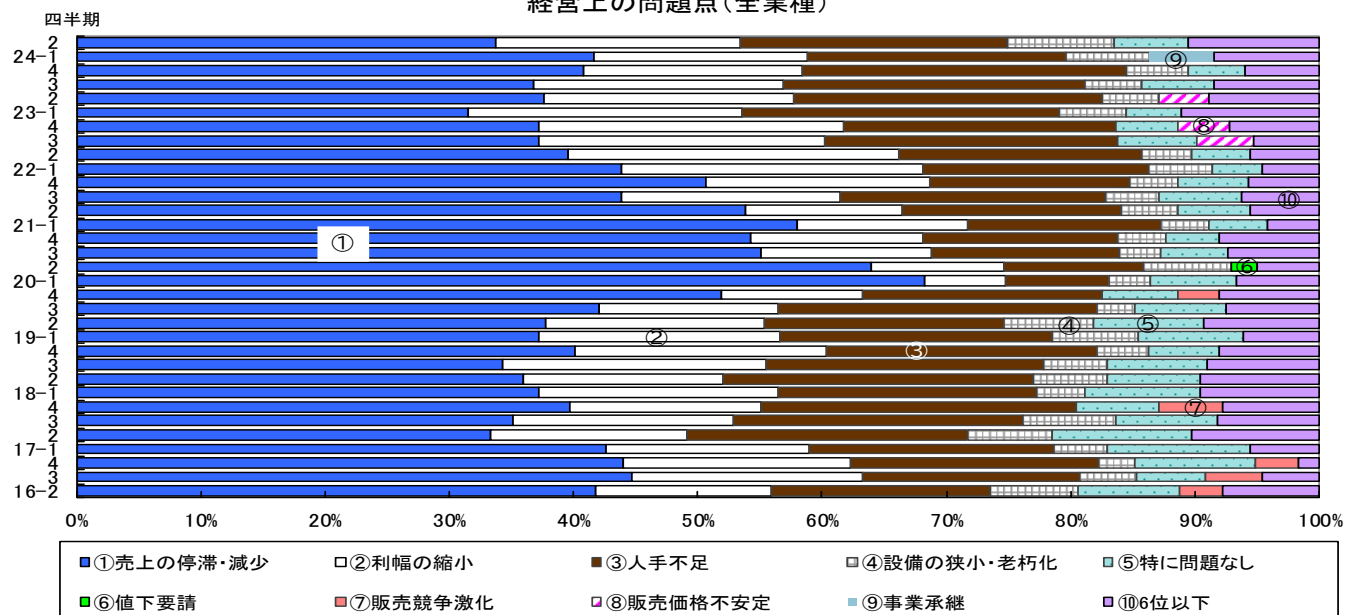
業種別では、製造業、卸売業、小売業、不動産業で「売上の停滞・減少」、サービス業、建設業で「人手不足」、飲食業、農業で「利幅の縮小」の回答が最も多い結果となりました。

経営上の問題点

(%)

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	売上減少 49.1	人手不足 17.0	利幅縮小 15.1	設備老朽 9.4	問題なし 7.5
卸 売 業	売上減少 33.3	販売価格不安定 25.0	利幅縮小 16.7	人手不足 16.7	事業承継 8.3
小 売 業	売上減少 34.0	利幅縮小 30.2	人手不足 15.1	競争激化 5.7	事業承継 5.7
飲 食 業	利幅縮小 28.6	人手不足 28.6	売上減少 14.3	設備老朽 14.3	販売価格不安定 7.1
サ ー ビ ス 業	人手不足 31.8	設備老朽 27.3	利幅縮小 18.2	売上減少 9.1	問題なし 9.1
建 設 業	人手不足 37.5	売上減少 34.4	利幅縮小 9.4	問題なし 6.3	設備老朽 3.1
不 動 産 業	売上減少 42.9	人手不足 14.3	設備老朽 14.3	競争激化 14.3	事業承継 14.3
農 業	利幅縮小 33.3	販売価格不安定 33.3	売上減少 16.7	設備老朽 16.7	-
全 業 種	売上減少 33.7	人手不足 21.6	利幅縮小 19.6	設備老朽 8.5	問題なし 6.0

経営上の問題点(全業種)



区 分	21-1	2	3	4	22-1	2	3	4	23-1	2	3	4	24-1	2
売上の停滞・減少	58.0	53.8	43.8	50.7	43.9	39.5	37.2	37.2	31.5	37.6	36.8	40.7	41.7	33.7
利 幅 の 縮 小	13.7	12.7	17.6	18.0	24.2	26.7	23.0	24.5	22.1	20.1	20.0	17.6	17.2	19.6
人 手 不 足	15.6	17.5	21.4	16.1	18.2	19.5	23.6	21.9	25.4	24.7	24.2	26.1	20.8	21.6
特に問題なし	4.7	5.7	6.7	5.7	4.0	4.6	6.3	5.1	4.4	-	5.8	4.5	-	6.0
販売価格の不安定	-	-	-	-	-	-	4.7	4.1	-	4.1	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	3.8	4.7	4.3	3.8	5.1	4.1	-	-	5.5	4.6	4.7	5.0	6.8	8.5
販売競争激化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業承継	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-
値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は6位以下を示しています。

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「2025年7月～12月」が8.0%と最も多く、次いで「すでに回復」が6.5%、「2025年4月～6月」が6.0%、「2026年1月以降」が4.5%、「2025年1月～3月」が3.5%と続きました。

また、「わからない」との回答が69.3%と大半を占め、依然として景気の先行き不透明感が強い結果となりました。

業況の回復時期

(先、%)

業 種	回 答 企業数	すでに 回 復	2024年 10月～12月	2025年 1月～3月	4月～6月	7月～12月	2026年 1月以降	わからない
製 造 業	53	11.3	0.0	1.9	1.9	13.2	3.8	67.9
卸 売 業	12	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	66.7
小 売 業	53	3.8	0.0	3.8	7.5	3.8	7.5	73.6
飲 食 業	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	85.7
サービ業	22	9.1	4.5	4.5	4.5	9.1	0.0	68.2
建 設 業	32	3.1	3.1	3.1	9.4	9.4	3.1	68.8
不 動 産 業	7	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9
農 業	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0
全 業 種	199	6.5	2.0	3.5	6.0	8.0	4.5	69.3

補 足 調 査

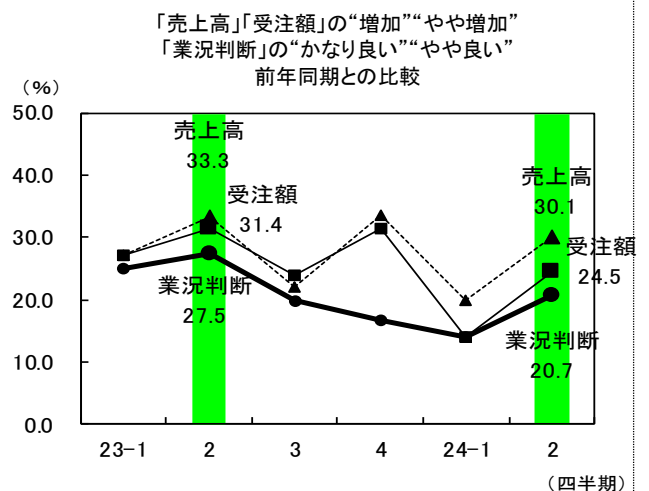
製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第2四半期)との比較調査を每期実施しております。

<製造業> (回答数 前年同期51先、今期53先)

「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が33.3%だったのに対し、今期は30.1%と3.2ポイント低下しました。

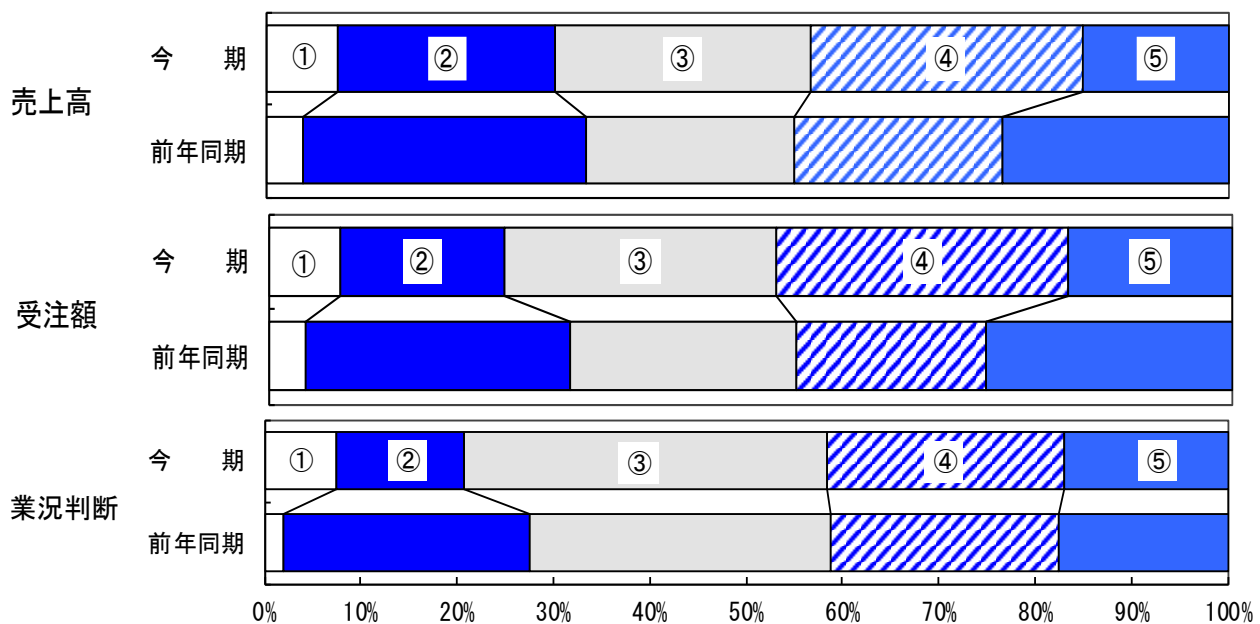
「受注額」では同様31.4%だったのに対し、24.5%と6.9ポイント低下しました。

「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が27.5%だったのに対して、今期は20.7%と6.8ポイント悪化しています。



(先、%)

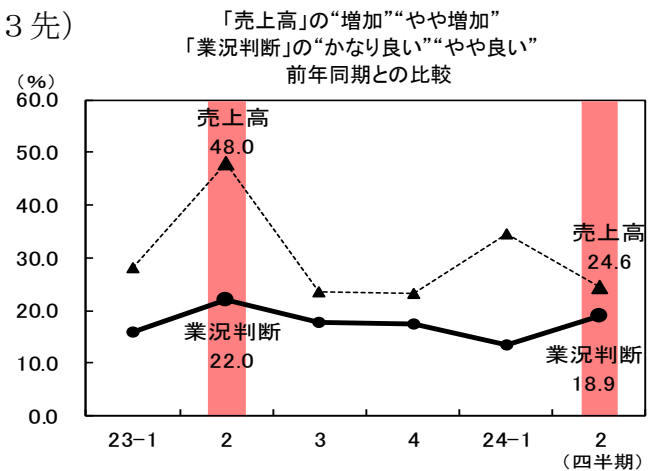
区 分	売 上 高				受 注 額				区 分	業 況 判 断			
	2023年7月～9月		2024年7月～9月		2023年7月～9月		2024年7月～9月			2023年7月～9月		2024年7月～9月	
①増 加	2	3.9	4	7.5	2	3.9	4	7.5	①かなり良い	1	2.0	4	7.5
②やや増加	15	29.4	12	22.6	14	27.5	9	17.0	②やや良い	13	25.5	7	13.2
③変わらず	11	21.6	14	26.4	12	23.5	15	28.3	③良くも悪くもない	16	31.4	20	37.7
④やや減少	11	21.6	15	28.3	10	19.6	16	30.2	④やや悪い	12	23.5	13	24.5
⑤減 少	12	23.5	8	15.1	13	25.5	9	17.0	⑤かなり悪い	9	17.6	9	17.0
合 計	51	100.0	53	100.0	51	100.0	53	100.0	合 計	51	100.0	53	100.0



＜小売業＞（回答数 前年同期 50 先、今期 53 先）

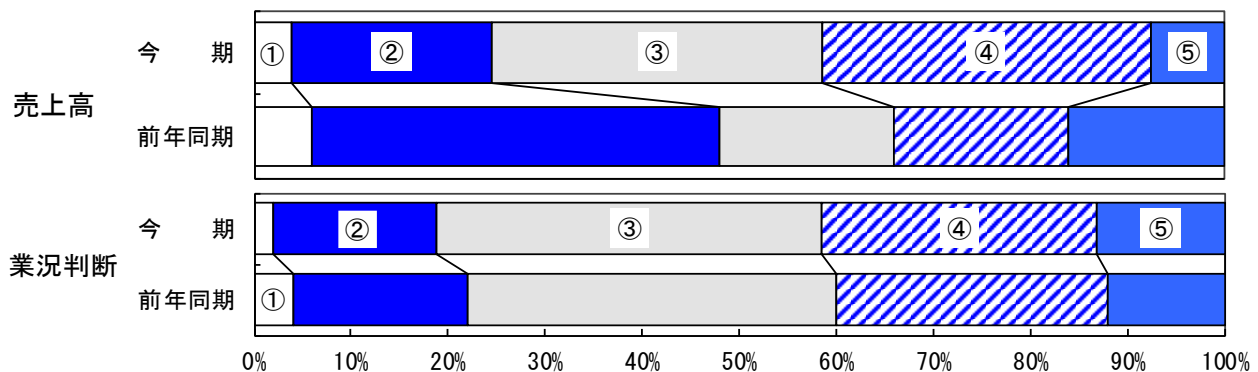
「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が48.0%だったのに対し、今期は24.6%と23.4ポイント低下しました。

「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が22.0%だったのに対して、今期は18.9%と3.1ポイント悪化しています。



(先、%)

区 分	売 上 高				区 分	業 況 判 断			
	2023年7月～9月		2024年7月～9月			2023年7月～9月		2024年7月～9月	
① 増 加	3	6.0	2	3.8	① かなり良い	2	4.0	1	1.9
② や や 増 加	21	42.0	11	20.8	② や や 良い	9	18.0	9	17.0
③ 変 わ ら ず	9	18.0	18	34.0	③ 良くも悪くもない	19	38.0	21	39.6
④ や や 減 少	9	18.0	18	34.0	④ や や 悪い	14	28.0	15	28.3
⑤ 減 少	8	16.0	4	7.5	⑤ かなり悪い	6	12.0	7	13.2
合 計	50	100.0	53	100.0	合 計	50	100.0	53	100.0



特別調査 ～「SDGs への取り組み状況等に関するアンケート」～

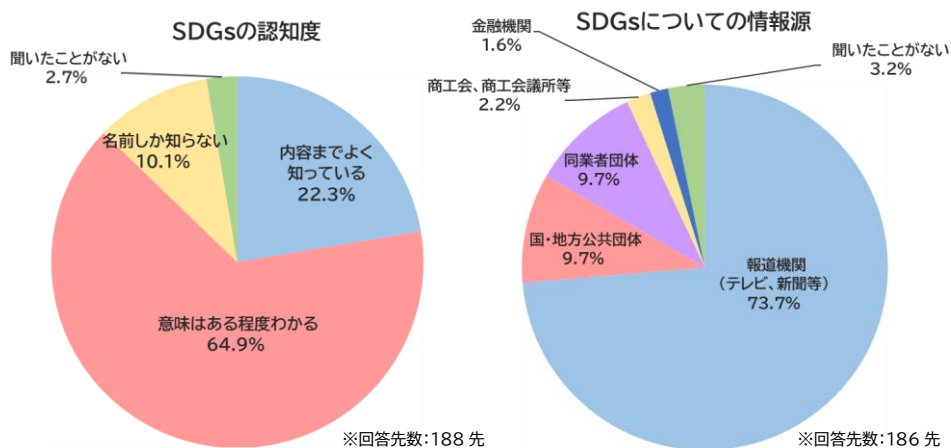
今回「SDGs への取り組み状況等に関するアンケート」調査を実施し結果は以下のとおりとなりました。特別調査にご協力いただき有難うございました。

問 1. SDGs の認知度と情報源

SDGs の認知度について最も多い回答は、「意味はある程度わかる」で 64.9%、次いで「内容までよく知っている」が 22.3% となり、8 割以上の事業者に認知されていることが分かります。

また、SDGs の情報源については、「報道機

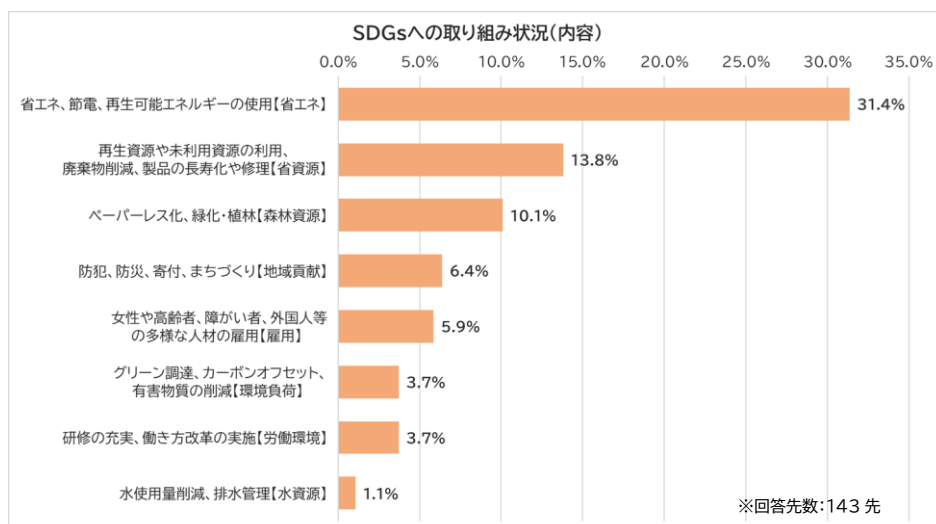
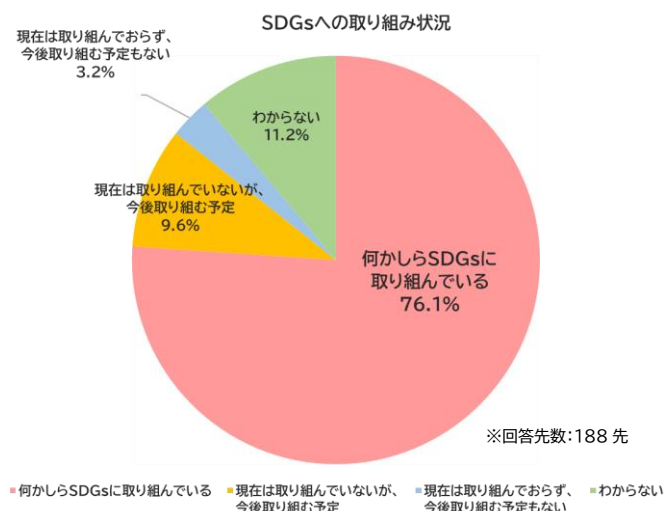
関（テレビ、新聞等）」が 73.7% と最も多く、次いで「国・地方公共団体」と「同業者団体」が 9.7%、「商工会、商工会議所等」が 2.2%、「金融機関」1.6% と続きました。



問 2. SDGs への取り組み状況

SDGs への取り組み状況について、何かしら取り組んでいる事業者は 76.1% となり、内容としては、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用【省エネ】」が 31.4% と最も多く、次いで「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理【省資源】」が 13.8%、「ペーパーレス化、緑化・植林【森林資源】」が 10.1%、「防犯、防災、寄付、まちづくり【地域貢献】」が 6.4% と続きました。

また、「現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定」は 9.6% となり、既に取り組んでいる事業者と合わせると、8 割以上の事業者が SDGs への取り組みに対して積極的であることが分かります。



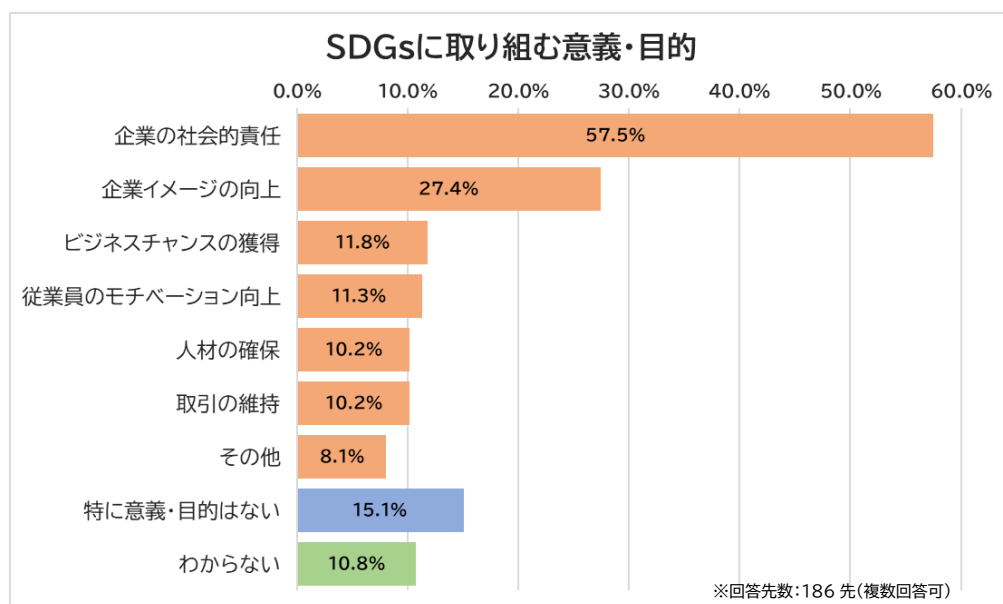
問3. SDGsに取り組む意義・目的

SDGsに取り組む意義・目的について、意義・目的があると回答した事業者では、「企業の社会的責任」が57.5%と最も多く、次いで「企業イメージの向上」が27.4%、「ビジネスチャンスの獲得」11.8%と続きました。

また、「従業員のモチベーション向上」11.3%、「人材の確保」10.2%と、

人材の確保や定着を目的としてSDGsに取り組む事業者も見られました。

なお、「その他」では、経営戦略上の目的や、環境面に配慮した回答も見受けられました。



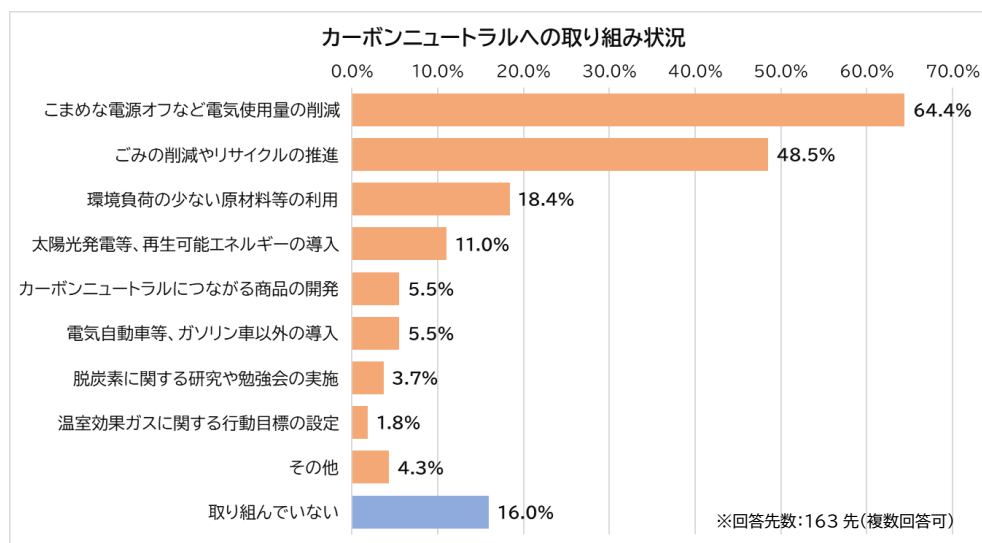
問4. カーボンニュートラルへの取り組み状況

カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化）について取り組んでいる施策は、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が64.4%と最も多く、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」が48.5%、「環境負荷の少ない原材料等の利用」が18.4%、「太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入」が11.0%と続きました。

また、「その他」では、「Gークレジット制度参加（建設業）」、「緑化推進寄付（サービス業）」といった回答が見受けられました。

対して、「取り組んでいない」は16.0%となりました。

業種別でみると、「電気使用量の削減」と回答した割合が全業種で高く、「太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入」では、卸売業と建設業の割合が高い結果となりました。



■カーボンニュートラルへの取り組み状況(業種別)

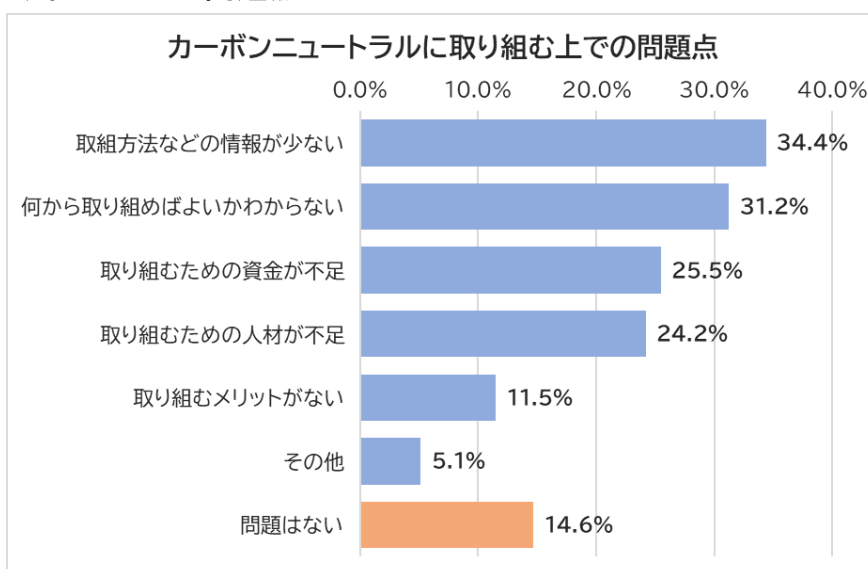
	こまめな電源オフ など電気使用量の削減	ごみの削減や リサイクルの推進	環境負荷の少ない 原材料等の利用	太陽光発電等、 再生可能エネルギーの導入	カーボンニュートラルにつながる商品の開発	電気自動車等、 ガソリン車以外の導入	脱炭素に関する 研究や勉強会の実施	温室効果ガスに関する行動 目標の設定	その他	取り組んでいない
製造業	66.7%	46.7%	37.8%	8.9%	11.1%	0.0%	4.4%	0.0%	2.2%	11.1%
卸売業	44.4%	33.3%	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
小売業	64.9%	48.6%	13.5%	5.4%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%	2.7%	18.9%
飲食業	66.7%	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%
サービス業	73.7%	42.1%	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%
建設業	58.6%	55.2%	10.3%	24.1%	3.4%	13.8%	0.0%	3.4%	13.8%	17.2%
不動産業	85.7%	85.7%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
農業	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%
全体	64.4%	48.5%	18.4%	11.0%	5.5%	5.5%	3.7%	1.8%	4.3%	16.0%

※回答先数:163 先(複数回答可)

問5. カーボンニュートラルに取り組む上での問題点

カーボンニュートラルに取り組む上での問題点について、「取組方法などの情報が少ない」が34.4%と最も多く、次いで「何から取り組めばよいかかわからない」が31.2%、「取り組むための資金が不足」が25.5%、「取り組むための人材が不足」が24.2%と続きました。

また、その他のコメントとして、「既存品より高額(小売業)」、「お金がかかる、高い(建設業)」など、カーボンニュートラルへの取り組みに伴うコストの増加を懸念する回答も見受けられました。

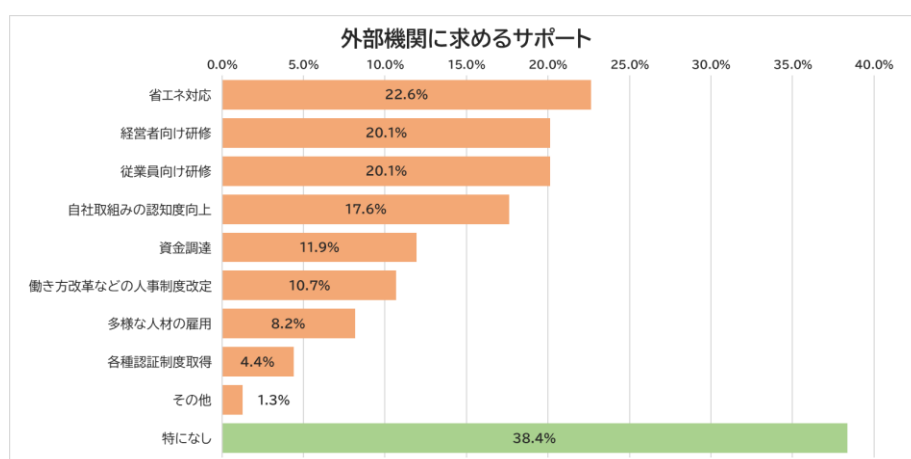


※回答先数:157 先(複数回答可)

問6. 外部機関に求めるサポート

SDGs に関して外部機関に求めるサポートでは、「省エネ対応」が22.6%と最も多く、次いで「経営者向け研修」20.1%、「従業員向け研修」20.1%、「自社取組みの認知度向上」17.6%と続き、幅広い分野で外部機関のサポートを期待する事業者が多いことが示されました。

一方で、「特になし」と回答された事業者の割合は38.4%となりました。



※回答先数:159 先(複数回答可)

有効求人倍率について

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$

公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山公共職業安定所の公表資料等を基に、2024年8月の有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載しております。

＜岐阜八幡管内＞

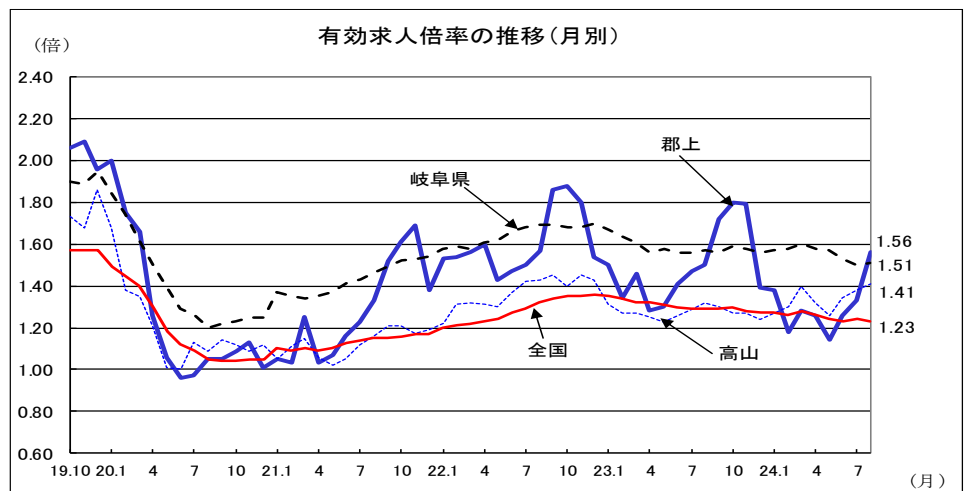
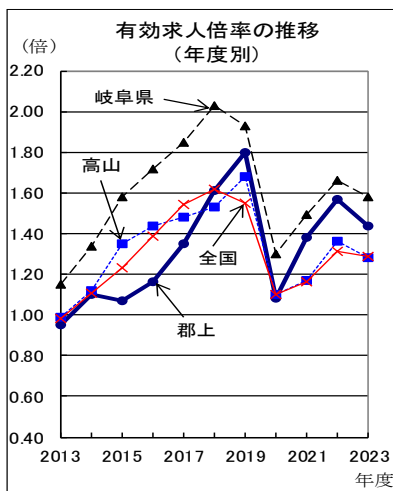
岐阜八幡管内は1.56倍と前月比0.23ポイント上昇、前年同月比では0.06ポイント上昇となりました。また、新規求人数は289人で前年同月比101人増加となりました。

＜高山管内＞

高山管内は1.41倍と前月比0.03ポイント上昇、前年同月比では0.09ポイント上昇となりました。また、新規求人数は902人で前年同月比37人減少となりました。

＜岐阜県および全国＞

岐阜県は1.51倍と前月比0.01ポイント上昇、前年同月比では0.06ポイント低下となりました。また、全国は1.23倍と前月比0.01ポイント低下、前年同月比では0.06ポイント低下となりました。



年度別有効求人倍率

区 分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
郡 上	0.95	1.10	1.07	1.16	1.35	1.61	1.80	1.08	1.38	1.57	1.44
高 山	0.99	1.12	1.35	1.44	1.48	1.53	1.68	1.10	1.17	1.36	1.28
岐阜県	1.15	1.34	1.58	1.72	1.85	2.03	1.93	1.30	1.49	1.66	1.58
全 国	0.98	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55	1.10	1.16	1.31	1.29

有効求人倍率

区 分	2022.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023.1	2	3
郡 上	1.60	1.43	1.47	1.50	1.57	1.86	1.88	1.80	1.54	1.50	1.34	1.46
高 山	1.31	1.30	1.37	1.42	1.43	1.45	1.40	1.45	1.43	1.31	1.27	1.27
岐阜県	1.61	1.62	1.66	1.68	1.69	1.69	1.68	1.68	1.70	1.67	1.64	1.61
全 国	1.23	1.24	1.27	1.29	1.32	1.34	1.35	1.35	1.36	1.35	1.34	1.32

区 分	2023.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024.1	2	3
郡 上	1.28	1.30	1.41	1.47	1.50	1.72	1.80	1.79	1.39	1.38	1.18	1.28
高 山	1.25	1.23	1.26	1.29	1.32	1.30	1.27	1.27	1.24	1.27	1.30	1.40
岐阜県	1.56	1.58	1.56	1.56	1.57	1.56	1.59	1.58	1.56	1.57	1.58	1.60
全 国	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28

区 分	2024.4	5	6	7	8
郡 上	1.26	1.14	1.26	1.33	1.56
高 山	1.32	1.26	1.34	1.38	1.41
岐阜県	1.58	1.57	1.53	1.50	1.51
全 国	1.26	1.24	1.23	1.24	1.23